

## こども交通安全教室

一人のセールスドライバーの体験から始まった、子どもの交通安全への取り組みは、昨年参加児童が100万人を越え、地域とヤマトグループにすっかり根付いています。

ヤマトグループは、事業活動において常に「安全第一」を重視しています。中でも子どもにかかわる交通事故防止は、重要なテーマの一つです。ヤマト運輸では平成10年より、地域の子どもたちに交通事故から身を守る知識を伝え、同時に社員に対する安全意識高揚を図る目的として、全国各地で「こども交通安全教室」を開催してきました。

教室を始めたきっかけは、一人のセールスドライバーの体験にあります。ある日のこと、配達を終えたセールスドライバーが集配車に戻ったところ、車の前に子どもが2人立っていました。話かけると「ボールを取って」。以前別のセールスドライバーに、車の下にボールが入った場合は取ってあげるから待つように、と言われたらしいのです。この話を聞いて当時の担当者が「子どもたちへの安全教育が地域への社会貢献になるのでは」と考え、活動がスタートしました。

平成17年度の開催は1,171か所で、112,438人の子どもたちが参加。17年8月には、参加児童数累計がついに



100万人を突破しました。参加社員数も、初年度は1千人強でしたが、昨年度には1万人程度にまで増加しました。また、子どもの行動特性や子どもを思いやる等、社員への教育効果も高く、今では新人研修に教育を組み込んでいる主管支店も数多くあります。

ヤマト運輸の社会貢献活動としてすっかり定着した安全教室。最近では老人会等からも開催のご要望をいただくほどの好評ぶりです。

今後の展開としては、地域特性に合わせたオリジナル性のある教室を展開したいと考えております。その土地の事情を踏まえたアレンジをすることで、より楽しく、地域特性に合わせた社会貢献を続けていきたいと思っております。

